



2020.7.12. 成井師司式ミサ

愛する南山教会の皆様

主任司祭 パウロ・フィラデルフィ

ご覧になったことがあると思いますが、マリア館のロビーの掲示板には三つの古い写真が貼ってあります。この写真は南山教会が建った頃の写真ですが、それを見たら様々な思い出になり、教会の長い歴史の香りを感じさせるのではないかと思います。特に、木がまだ伸びていない丘、誰も住んでいない周りの敷地を見たら、「大分変わったなあ」と感動することができます。

時の流れを感じると思いますが、変わってきたのは外回りだけではなく、神の恵みで溢れて変わってきた人生、伸びてきた信仰、美しくなってきた共同体も見えるのではないかと思います。時の流れに負けないように、昔のことから学び、将来を目指し、現代を忠実に生きることを忘れてはいけないのではないかと思います。今日の南山教会はどのような教会になっているのでしょうか。まず、神様のみ胸を目指して成し遂げる教会になるべきではないでしょうか。これからも頂いた信仰で成長していくことができますように。実は、信仰の成長を望んだ聖パウロは次のように言っています。「なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによつて上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。」

皆さん、南山教会共同体もパウロのように前を向いて走りましょう！ 今の難し時期の中こそキリストを信じ、美しい現代を作るよ

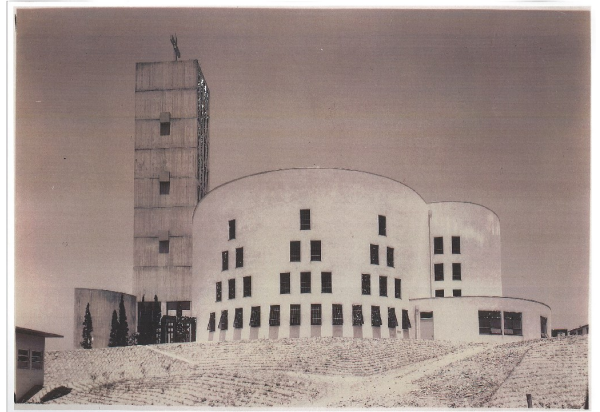
平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

うに。ごミサ、お祈り、愛し合うことの大切さ、また、信仰の喜びを南山教会の中だけではなく、周りの地域にも伝えることができま



典礼一口メモ

〜香部屋の窓から〜 第31回

「キリストと我等のミサ」のお話

典礼委員長 新内飛鳥

「キリストと我等のミサ」という本があります。手のひらサイズの小さな本で赤い表紙が印象的です。赤本と呼ばれることもありません。よくご存じの方も多いと思いますがご存じない方のことを意識して紹介します。どんな本なのかというミサで使われる祈りや、ふさわしい動作、流れを場面に沿って解説しています。唱えらるる言葉が並んでいる行間に赤字で

動作が書き込まれています。この注釈をルブリカと呼んだりします。また欄外には言葉や動作の意味を解き明かす文章が載っています。ミサに始まったころには役立って本です。サンパウロから出版されています。よく似た内容で「ともにささげるミサ」という本がオリエンズ出版から出されていますが少し使い勝手が違います。こちらの本には欄外の解説がありません。また会衆の唱える言葉を中心に掲載されていて司祭の文言についてはあまり詳細に記されてはいません。なので流れを知りたいときや神父様がなんて言っているのかなあって疑問がわいた時には前述の「キリストと我等のミサ」が断然、役に立ちます。司祭だけが唱える言葉が丁寧に記述されているので共同司式の神父様たちにもお役立ちグッズです。冒頭には「聖体祭儀の聖なる秘儀」として『典礼憲章』からの抜き書きが記

載されています。(以下原文)
 「われわれの救い主は、渡されたその夜、最後の晩餐において、御血からだと御血による聖体の犠牲を制定された。それは、十字架の犠牲を主の再臨まで世々に永続させ、しかも、愛する花嫁である教会に、ご自分の死と復活の記念祭儀を託すためであった。すなわち、これは慈しみの秘跡、一致のしるし、愛のきずな、キリストが食され、心は恩恵に満たされ、そして未来の栄光の保証がわれわれに与えられる復活のうたげである。したがって、教会は、キリスト信者が、この信仰の秘儀に無関係な、あるいは無言の傍観者として列席するのではなく、儀式と祈りによってこの秘儀をよく理解し、聖なる行為に、意識的に敬虔に、また行動的に参加し、神の言葉をもって教えられ、主の御からだの食卓において養われ、神に感謝をささげ、ただ司祭の手を通してばかりでなく、信者も司祭とともに汚れないいけにえを奉獻して、自分自身をささげることを学び、こうして、キリストを仲介者として、日々神との一致と相互の一致の完成に向かい、ついには神がすべてにおいてすべてとなるように全力を傾注しているのである。」



この記述に続いて「会衆の共同の姿勢」を説明しています。（以下原文）ミサの間、会衆派「起立」「着席」「ひざまずく」（※日本の教会では「ひざまずく」代わりに「手を合わせて深く礼をする」という三つの姿勢で必ずかかります。「起立」は注意を呼び覚まし、感謝し、神の招きに応える心、復活した者の状態を表します。「着席」の姿勢は、主のみ言葉を聞きながら、その足元に座っていたベタニアのマリアのように、私たちが静かに神のみ言葉を聞く状態に置き、注意深く聞くことを助けます。「ひざまずく（合掌してお辞儀する）」ことは、個人的祈りの姿勢で、償い、謙遜、礼拝を表し、また、こういう心を表すための助けとなります。このように、いろいろな姿勢を変えることによって、体も神の礼拝、賛美に参加することができます。神の被造物である体もまた創造主に尊敬、従属、愛を表すことが望ましいからです。以上三つの姿勢は、命令ではなく、ミサのいけにえが進んでいくにしたがって、共同的、行動的に参加するよう、私たちの祈りを方向付けるためのものです。「ミサ」の祭儀は、本性上、「共同的」性格を持っているので、司祭と信者会衆との間

に交わされる対話や応唱などは大きな力を持っています。すなわち、それらは共同の祭儀の外的らしきものであるだけではなく、司祭と会衆との交わりを促し、作り上げるのです。

パウロ神父様が赴任されてから、公開ミサ中止の間、教会内の剪定や整備をして下さり、とてもきれいになりました。



お知らせとお願い

運営委員会

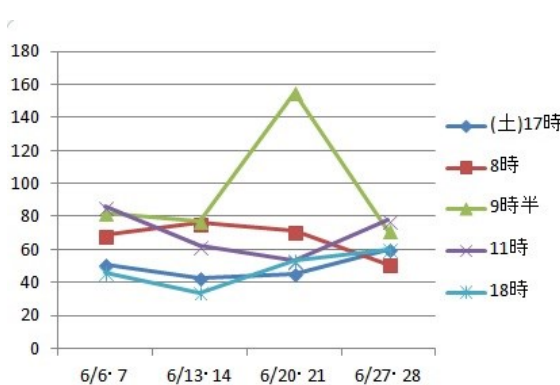
これまでの主日の公開ミサのコロナウイルス感染症対策にご協力いただきありがとうございます。与かられた方の人数集計で、特に晴天の日には9時半のミサに集中することがわかりました。可能な方は9時半以外のミサに分散して与られます様お願いいたします。

あらためて以下のご協力を皆様をお願いいたします。

- ◎ご自宅を出る前に検温し、37度5分以上もしくは平熱との差が1度以上の場合、また、風邪の症状を自覚された場合はミサ出席を控えていただきます。
- ◎初回は正面から入堂、教会玄関にて氏名・連絡先の記入、手の消毒を行っていただきます。
- ◎マスクの着用にて入堂
- ◎忘れた場合、教会玄関にてマスクを配布。お体の事情(呼吸困難、アレルギー)でマスクができない場合は専用の席を案内いたします。
- ◎ミサ終了後、座席周辺の座席

設置の用具にて消毒の為の拭き取清掃をおこなっていただきます。

◎その他、進行係のアナウンスと案内係の指示に従いご協力いただきます様お願いいたします。





パウロ神父様

霊名のお祝い 6月28日



◎7月12日(11時)の成井被選司
教様のごミサは下記URLをパ
ソコン・スマホ上で入力すれば
ユーチューブにて観ることがで
きます。

<https://youtu.be/86XZLEhtNWY>



教皇フランシスコのミサに参加して

特別なミサ 二十代 男子

長崎についたとき、外は大雨だった。まったくやむ気配はなく、気分はどんよりとしていた。行く前から雨だということは知っていたが、それでも実際に目の当たりにするとあまり好きではない。天気には気分は少し落ち込んだ。

これから雨の中でミサを受けるということは、大事なお言葉をしつかり聞くにはよい環境とは言えないだろう。だからこそ会場に向かう間晴れることを祈り続けた。

会場付近に到着すると、少し雨の勢いは弱まっていた。会場付近には同じ目的で来た信者の皆様が集っていた。

その時にはまだ実感もなにもわいてこなかったが、始まりが近づくにつれて、天気から変わり始めた。さつきまで降っていた雨がやんでいく。雲も薄くなっているように感じる。

そしてミサが始まる直前には晴れ渡っていた。雲もどこにもない。

私はとても不思議な気持ちになった。自分でもよくわからない、不思議な気持ちだった。

そしてパパ様が会場に訪れ、ミサが始まるときには気分はとてもうれしくなった。

自分がとても特別な空間にいることは理解できる。本当にうれしかった。

パパ様と過ごした空間にいたことを誇りに思う。私は兄弟でその場にいました。あの場にいたことを三人そろってうれしかったと感じたと思います。私たち三人を長崎まで行かせてくれたお父さん、お母さんには今でも感謝しています。長崎という場もミサの効果を高めたと思えます。世界平和とは真逆の、人類が生み出した最悪の兵器の被害を受けた場所からパパ様が言葉を伝える。これに私の中の感動が増した要因があると思います。長崎で行われたミサの中で感じた特別な思い、今でもまだこれという表現は出てきません。それでも、あの場にいた全員の思いは一緒だったと思います。



司祭団より

7月5日

・マリア館一階にコーヒーマーカを設置しました。献金箱もありますので、よろしければ献金いただきご利用ください。
・シューベルト神父様の納骨式が行われました

・7月11日に管理委員会を開催いたします。内容としては会員の年齢、納骨壇の今後などを話し合う予定です。

納骨堂管理委員会より

は、事務所に修正シールの準備がありますので、お受け取りいただき、ご修正ください。

審議・相談事項

7月11日よりの公開ミサについて
公開ミサの典礼について

7月5日以降コロナ対策を緩和していくとの基本方針が示されておりましたが、関東地方でコロナウイルス検査の陽性者が増加傾向にあるため、少なくとも7月はこの案がありました。現状まだ

・名簿を運営委員の皆様と教会事務所に配布してもよいか、皆様の同意をいただきました。

2019年度各会活動報告提出依頼

頼

全国で飛沫に関連する感染が確認されているのと、マスクをしながらでは苦しいので、引き続き聖歌は無しにします(9月ごろまで延期)

報告・連絡事項

営繕委員会・大規模補修プロジェクトチームより

・大聖堂正面の鉄扉クローサーが耐用限度を超えていたので交換してもらいました。
・大聖堂横の水場の排水桝があふれていたのを修理しました。
・女性トイレがおむつで詰まっていたので詰まっていたように今はないです。
・教会まわりの木々がすつきりしましたが、パウロ神父様がトラック4台分もきれいにしてくださいました。

公開ミサのコロナ対策について

・ミサ再開後4回目の主日を終え、3回目の主日には9時半のミサに集中する傾向がありました、

信徒使徒職協議会(信徒協)献金について(献金日7月19日)

当日献金箱を用意いたします。

また晴天の日には総人数が増加する傾向にあり、

・典礼聖歌の修正をいたしました。ご協力頂きました皆様、ありがとうございました。

・十字架下の階段の破損も修理しました。

その他

・9時半のミサで170名より多い場合は11時のミサに回っていたが、11時も多い場合は、マリア館ホールでのミサのライブ配信に

・個人で典礼聖歌をお持ちの方堂を制限することはせず、後方の

がとうございました。

150人以上になった場合、入

150人以上になった場合、入

教会行事について

「すべてのいのちを守るための月間」設置について

・「すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り」を、ミサ前の教会の祈りの最後に唱える事にし、全時間帯のミサの前に唱える事にします。期間は、順調に教会の祈りができるようになれば、9月1日～10月4日までです。

8月に予定されていた避難訓練に 関して

・教会全体の行事の再開は9月よりの基本方針より今年度は中止いたします。

10月に予定されている教会バザー について

・マリア会にて開催の是非についてアンケートを取り、80%以上が中止の票でした。フリーマーケット等、準備に時間がかかり密になる可能性も大きいことから、バザーではなく運営委員会判断のもとで別の様式で検討していくことが提案されました。

・運営委員会でも決議し、中止となり、他の様式の可能性について

は今後話し合うことになりました。

9月に予定されている教会美化に ついて

・現状は予定通り実施することにしますが、コロナの影響を注視していきます。

聖母被昇天祭について

・8月15日の朝7時と10時に大聖堂でミサが捧げられます。

8月平和旬間への南山教会の取り 組みについて

・8月6日に7時より平和ミサを、9日に平和の祈りとして15時より18時に聖体礼拝を捧げます。

10日間聖体礼拝について

・上記8月9日の平和の祈りのための聖体礼拝を10日間の聖体礼拝に当てます。

敬老会の開催方法について

敬老会の日程が決まりました。9月13日(日)14時に敬老会専用のミサが行われます。招待状は8月に郵送予定ですが、会の詳細は今度審議いたします。

典 礼 奉 仕 者 全 体 集 会 (10月11日) (日) 開 催 予 定 ・ 信 徒 全 体 集 会 (10

月18日(日)開催予定・ヨセフ会全 体集会について

・コロナの影響度合いにもよりますが、9月から各種イベントが再開される事を見込み、9月に入りましたら検討を開始いたします。

その他

・8月2日(日)13時より「第12回平和祈念の集い」が松浦悟郎司教様を講演者に招き開催されます。今回は三密防止の為、大聖堂で行われるとのことです。皆さんにお伝えください。

・7月28日(火)に聖堂パイプオルガンの点検を実施致します。

各会報告

典礼委員会

・順調であれば、9月より教会の祈りを再開します。又、これまで9時半ミサ前のみでしたが、9月以降すべてのミサの前に捧げます。

・「すべてのいのちを守るための月間」について、9月の間、教会の祈りの“結び”に替えて「すべてのいのちを守るためのキリスト

者の祈り」を捧げます。

・8月6日(木) 7時平和の祈りのミサ

・8月9日(日) 15時～18時平和の祈りの聖体礼拝

※教区の平和旬間及び10日間の聖体礼拝の意味を持たせる

・8月15日(土) 7時、10時聖母の被昇天のミサ

・8月16日(日) 9時半のミサで初聖体

オルガン管理委員会

・7月28日(火)に、望月オルガンによる前期のオルガン点検、修理を行います。

教会学校

・7月5日(日) 初聖体説明会

・8月16日(日) 初聖体ミサ

次回は9月6日





*句会は開催されませんでした。
毎月第三日曜日九時半ミサ後
マリア館二階フロア又は司祭館

教皇の祈りの意向

2020年7月は、「家族」をテーマに、次のように祈る。

「現代を生きる家族に愛と尊敬がともない、ふさわしい助言が与えられますように」。

「家族は守られなくてはなりません」。

家族が直面する危険はたくさんあります。あわただしい生活のリズムや、ストレスなど…。

時には、親は子どもと遊ぶことを忘れてしまいます。

教会は家庭を励まさなくてはなりません。そして、彼らに寄り添い、これらすべての困難を乗り越える道を発見できるよう助けなくてはなりません。

祈りましょう。現代を生きる家族に愛と尊敬がともない、ふさわしい助言が与えられ、特に国によって保護されますように。」

信者の消息

転入

ようこそ

- カタリナ 佐々木 靖子 (岐阜教会)
- ミカエル 東納 英輔 (関口教会)
- マリア・インマクラータ
 鋤納 正子 (東山教会)
- マリア・アヌンチアータ
 小林 未希 (関目教会)

教会維持費

6月は2,494,589円の維持費が納められました。
有難うございました

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれま
すので、よろしくお祈りいたします。

転出

いつまでもお元気で

- ミカエル 篠田 世豊 (沼津教会)
- セシリア 篠田 タオ (沼津教会)

大規模修繕基金

6月分

226,310円のご協力をいただきました。ありがとうございました

2020年7月・8月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
7月		中止・延期	25(土)要約筆記付き・ミサ *一部開催している会もあります。詳しくは各会にお問い合わせください。	
8月	15(土) 聖母の被昇天	6(木)平和の祈り 9(日)平和の祈り 16(日)聖母被昇天祭 (聖母行列) 23日(日)避難訓練	22(土)要約筆記付き・ミサ *一部開催している会もあります。詳しくは各会にお問い合わせください。	教区中高生会広島巡礼 0~()信徒協広島平和 巡礼 9(日)平和祈願ミサ 6(木)~15(土) 平和旬間